

平成27年度 徳島県立鴨島支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立鴨島支援学校長

林 博子

1 学力向上検討委員会構成

| 学 力 向 上 検 討 委 員 | | |
|-----------------|--|----------------------------------|
| | 職名・校務等担当名 | 氏名 |
| 管理職 | 校長 教頭 | 林 博子 新居見 猛 |
| 学力向上推進員 | 教諭(教務課長) | 中 史治 |
| 委員 | 教諭(小学部主事) 教諭(中・高等部主事) 教諭(特別支援教育課長) 教諭(特別活動課長) | 新居由紀子 天羽 康代 北條 佳子 井内 満子 |

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| (小 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況 | | |
|----------------------------|---|---|
| よ さ | <p>高等部進路発表会に参加し、進路に向けた学習を意識することができた。運動会や文化祭では、他学部の様子を見学することで、中学部等への移行のための準備を、個々に応じて実施できた。</p> | <p>課題</p> <p>まだまだ生活経験が少ない状況にあるので、いろいろな体験を通して学習を積み重ね、基礎的な知識や技能を習得していくことが課題である。</p> |
| | <p>具体的目標(目指す子どもの姿)</p> <p>ICT機器を使うことで、興味・関心を持って学習に取り組むことができる。</p> | <p>成果指標</p> <p>教員にアンケートを実施し、各児童について、興味・関心をもって学習に取り組むことが「できた」、「どちらかというときできた」の回答が70%以上となる。</p> |
| | <p>具体的方策(教員の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad・パソコン等の基本操作や児童に必要なアプリケーションソフトの研修を実施する。 ・各教員が児童へのICT機器の活用計画を立て「個別の指導計画」に取り入れる。 ・各教員がケース会等で一事例以上の取り組みを発表するとともに、事例集の様式にまとめる。 <p>* 中間期の見直し</p> | <p>取組指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全員がiPadやパソコンで基本的な操作やアプリケーションソフトの操作ができるようになる。 ・児童一人一人に対する授業等でICT活用指導計画を立て、実施する。 ・年間2回以上、事例検討会やケース会での実践報告を行い、データを共有する。 |
| | | <p>達成状況を踏まえた改善事項</p> |

| (中 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況 | | |
|--|--|--|
| よ さ | <p>高等部の就業体験発表会や3年生進路発表会を、複数回見学したり、夢チャレンジフェアに参加することで、将来の進路に関して意識することができた。</p> | <p>課題</p> <p>身近でより具体的な体験を積み重ねることによって、学習の定着を図るとともに、自分でやってみようという態度を育成することが必要である。</p> |
| <p>具体的目標(目指す子どもの姿)</p> | | <p>成果指標</p> |
| <p>ICT機器を使うことで、興味・関心を持って学習に取り組むことができ、自ら進んでICT機器を使うことができる。</p> | | <p>達成状況</p> <p>教員にアンケートを実施し、各生徒について、興味・関心をもって学習に取り組み、自ら進んでICT機器を使うことが「できた」、「どちらかというときできた」の回答が70%以上となる。</p> |
| | | <p>評価</p> |
| <p>具体的方策(教員の取組)</p> | | <p>取組指標</p> |
| <p>・iPad・パソコン等の基本操作や生徒に必要なアプリケーションソフトの研修を実施する。</p> <p>・各教員が生徒へのICT機器の活用計画を立て「個別の指導計画」に取り入れる。</p> <p>・各教員がケース会等で一事例以上の取り組みを発表するとともに、事例集の様式にまとめる。</p> <p>* 中間期の見直し</p> | | <p>取組状況</p> <p>・教員全員がiPadやパソコンで基本的な操作やアプリケーションソフトの操作ができるようになる。</p> <p>・生徒一人一人に対する授業等でICT活用指導計画を立て、実施する。</p> <p>・年間2回以上、事例検討会やケース会での実践報告を行い、データを共有する。</p> |
| <p>達成状況を踏まえた改善事項</p> | | |
| <p>(高 等 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況</p> | | |
| よ さ | <p>施設での実習や学校における作業的な学習を通して、卒業後の就労に向けての意識を高めることができた。</p> | <p>課題</p> <p>一層卒業後の生活に向けての意識を高めるとともに、そのために必要な知識や技能を習得していくことが必要である。</p> |
| <p>具体的目標(目指す子どもの姿)</p> | | <p>成果指標</p> |
| <p>ICT機器を使うことで、興味・関心を持って学習に取り組むことができ、自ら進んでICT機器を使うことができる。</p> | | <p>達成状況</p> <p>教員にアンケートを実施し、各生徒について、興味・関心をもって学習に取り組み、自ら進んでICT機器を使うことが「できた」、「どちらかというときできた」の回答が70%以上となる。</p> |
| | | <p>評価</p> |
| <p>具体的方策(教員の取組)</p> | | <p>取組指標</p> |
| <p>・iPad・パソコン等の基本操作や生徒に必要なアプリケーションソフトの研修を実施する。</p> <p>・各教員が生徒へのICT機器の活用計画を立て「個別の指導計画」に取り入れる。</p> <p>・各教員がケース会等で一事例以上の取り組みを発表するとともに、事例集の様式にまとめる。</p> <p>* 中間期の見直し</p> | | <p>取組状況</p> <p>・教員全員がiPadやパソコンで基本的な操作やアプリケーションソフトの操作ができるようになる。</p> <p>・生徒一人一人に対する授業等でICT活用指導計画を立て、実施する。</p> <p>・年間2回以上、事例検討会やケース会での実践報告を行い、データを共有する。</p> |
| <p>達成状況を踏まえた改善事項</p> | | |

